

## AIの手を借りてみました

前回，前々回とかなり主観的な内容で記事を書いてしまいましたので，今回はその反省に立ち AI (ChatGPT) の手も借りながら記事を書いてみました。

この記事を読んだ皆様には AI に少し任せたとしても，生身の人間にできることをしっかり追求していくことの大切さも感じていただけるのではないのでしょうか。

幸いにして獣医師という職業はそう簡単には AI にとって代わられることはないと思われませんが，われわれは今後どのように AI と関わっていくべきかを考えるきっかけになりましたら幸いです。

前置きはさておき ...

### ■ 31年ぶりに日本で開催される 世界獣医師会大会 —世界と日本，そして次世代をつなぐ 歴史的な機会—

世界の獣医療はいま，確実に次の時代へと歩みを進めています。

動物医療の高度化，ワンヘルスの実践，感染症対策，環境問題，動物福祉，教育と人材育成など，獣医師を取り巻く課題は年々広がり，国境を越えて議論される時代となりました。

こうした世界的な課題について，世界中の獣医師が一堂に会し，知見を共有し，未来を議論する場が世界獣医師会大会です。今年4月，その世界獣医師会大会が「WVAC2026 東京大会」として31年ぶりに日本で開催されます。

31年前の日本開催は横浜で行われましたが，その際には天皇皇后両陛下のご臨席を賜るといふ，わが国の獣医学，獣医療史に残る象徴的な出来事がありました。今回の2026東京大会は，その歴史を継承しつつ，日本の獣医療が世界とどのように関わっていくのかを示す，重要な節目となります。

本大会は，最新の獣医療に関する学術的知見を

共有する場であると同時に，獣医師という専門職が，今後社会の中でどのような役割を担うのかを世界規模で再確認する場でもあります。世界が直面する課題に対し，各国の獣医師がどのような視点と実践を持っているのかを直接知ることができる，きわめて貴重な機会です。

今回の大会では，参加者のハードルを少しでも下げる新たな取組みも予定されています。

英語で行われる口頭発表や講演について，AI 技術を活用し，日本語字幕ヘリアルタイムで変換する仕組みが導入される予定です。これにより，英語に不安がある方であっても，発表内容を日本語で理解しながら聴講することが可能となります。

日本にいながら，日本語で，世界の獣医療の最先端をリアルタイムで理解できる。

このような環境が整う国際大会はきわめてまれであり，若手からベテランまで，全ての獣医師にとって大きな学びの機会となるでしょう。

さらに，本大会期間中に開催される世界獣医師会総会において，日本獣医師会の藏内会長が，日本人として初めて世界獣医師会会長に任命されます。これは日本の獣医療が長年にわたり積み重ねてきた実践と国際貢献が，世界から正式に評価さ

れたことを象徴するものだと考えています。

31年ぶりの日本開催、  
日本人初の世界獣医師会会長誕生、  
そして日本語で世界の最前線を理解できる環境。

これらが同時に重なる今回の世界獣医師会大会は、日本の獣医療の現在地を確認し、次世代へとつなぐ、またとない機会です。

この歴史的な節目を、ぜひ多くの皆様と共有したいと考えています。

いかがだったでしょう。この文章はAIが手伝ってくれたところもありますが、内容を書き、文章の監修は自ら行うことを前提に書きました。AIに文章を書くことを任せることもできるいまの時代の獣医師に必要なヒントが世界獣医師会大会2026、東京大会には詰まっているはずで、それを見つけに、ぜひ会場に足を運んでください。参加登録は絶賛受付中です！

公式サイトはこちら

<https://wvac2026-tokyo.com/>

(近日中にもっともっと魅力的なウェブサイト  
に生まれ変わる予定です)